



祥雲閣

たより vol.61

祥雲閣

夏の風景

さるすべり
百日紅

伝統文化体験講座

はじめての 水引細工



6月29日(土)大崎市祥雲閣で水引を使い小物作りの体験講座を行いました。

ご祝儀袋の飾り紐として使われる水引は飛鳥時代に中国から伝わったとされ、人と人との絆を深める縁起物とされているそうです。

県内の神社に水引御守りを奉製する水引作家の加川美幸さんに水引の由来や意味を学び、アクセサリーや小物作りを通して、結びの楽しさと奥深さを体験していただきました。

参加された方から「色の組み合わせや大きさで作品の表情が変化するのが面白かった」「本やSNSで見て一度体験してみたいと思っていたのでよかった」「作業が難しかったがとても楽しかった」などの感想がありました。

出来上がった作品はどれも素敵な出来栄ですね♪

ブローチ

ブックマーカー

ストラップ



祥雲閣からお知らせ

イベント情報や心に留まった風景を
発信していきますので
よろしく願います！

イベント情報や
庭園風景などを投稿します！
フォローや拡散してくれると
嬉しいな〜！！



ユーザー名
@osaki_civichall



大崎市民会館・大崎市祥雲閣

X(旧 Twitter)公式アカウント開設のお知らせ

令和6年7月11日(木曜日)～ 運用開始

「因幡の白うさぎ」



「因幡の白うさぎ」は古事記
(日本で最も古い書物)に書かれている神話です。

むかし隠岐の島（現在の鳥取県）に白うさが住んでいました。海の向こうの陸地に行きたいと思っていたうさは泳がないで向こう岸まで渡っていこうとサメをだましましたが、嘘に気付いて怒ったサメに毛皮をはがされてしまいます。うさが痛みで泣いていると意地悪な神様たちに海水を浴びて風にあたるとよくなると言われ、その通りにすると傷がもっとひどく痛みました。

泣いているうさぎのところに、心優しい神様が通りかかり、うさぎに真水で体を洗って蒲（がま）の穂綿の上に寝転ぶとよくなると教えました。言う通りにするとうさぎのからだから毛が生えはじめ、元の白うさぎに戻りました。

うさぎは嘘をついたことを心から反省しました。

この神話で知られる蒲（がま）は池や水辺に生える植物で、フランクフルトのような形の穂を触ると中から綿毛が出てきます。

神話の白うさぎは綿毛でけがを治しましたが、花粉から漢方薬が作られたり、穂先と茎はドライフラワーなどに用いられているそうです。

※諸説あります。

カレンダー

※月曜休館 は休館日（変更する場合があります）

8月							9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③	1	2	3	4	5	6	⑦			1	2	3	4	⑤
4	5	6	7	8	9	⑩	8	9	10	11	12	13	⑭	6	7	8	9	10	11	⑫
11	12	13	14	15	16	⑰	15	16	17	18	19	20	⑰	13	14	15	16	17	18	⑰
18	19	20	21	22	23	⑳	22	23	24	25	26	27	㉑	20	21	22	23	24	25	㉒
25	26	27	28	29	30	㉓	29	30						27	28	29	30	31		

祥雲閣は、日本の伝統文化の伝承と普及のために利用できる施設です。

茶道をはじめ、箏・謡・舞踊などの発表会やお稽古にご利用いただけます。

入館・見学は無料です。

和の空間で四季折々の庭園を眺めながら、ごゆっくりお過ごしください。

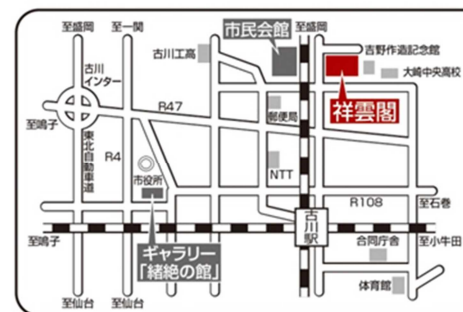
所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号

電話 0229-24-3385

交 通 JR 古川駅から徒歩約 20 分
車 東北自動車道古川 IC より
約 10 分

駐車場 有

休館日 月曜（月曜が祝日の場合は翌日）



大崎市祥雲閣

令和6年 8月 19日発行

989-6105

宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号

TEL · FAX 0229-24-3385